

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～2
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 3
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 3
- ★ 全数把握感染症集計表 P 4
- ★ 定点把握感染症集計表 P 5～9
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 10～14
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 15～18
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 19～20
- ★ 新型コロナウイルスのPCR検査等の状況 P 21
- ★ 南半球オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況 P 22
- ★ 日本の季節性インフルエンザの流行状況 P 23



発生動向総覧

《第27週コメント》 7月14日集計分

インフルエンザの届出が1名（浜松市1名）。第11週（3月14日～3月20日）以来、16週ぶりの届出。

手足口病が113名で増加傾向（第25週（26名）、第26週（58名））。

ヘルパンギーナが68名で増加傾向（第25週（10名）、第26週（41名））

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（熱海（1）、東部（2））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 重症熱性血小板減少症候群（西部（1））
- 5 類感染症 梅毒（富士（1））

新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（152）、熱海（179）、東部（801）、御殿場（179）、富士（341）、静岡市（1,548）、中部（576）、西部（722）、浜松市（1,568））

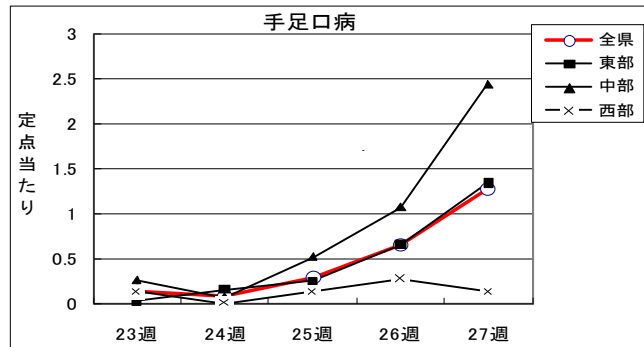
◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

令和4年第27週(7/4～7/10)の動向

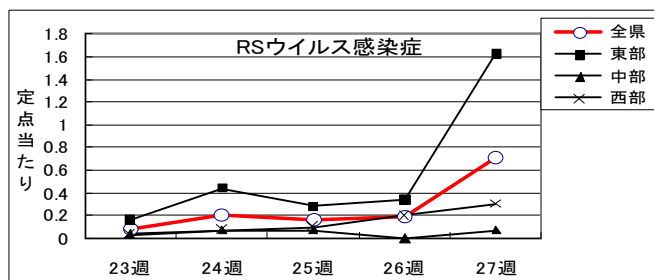
手足口病

全県で罹患数113、定点当たり1.27の患者発生あり、県全体では前週からさらに著しく増加。特に東部及び中部地区で大幅に増加。西部地区のみ減少。東部地区で定点当たり1.34、中部地区で定点当たり2.44、西部地区で定点当たり0.13の患者発生報告。東部及び中部は引き続き流行期であることが示唆される。



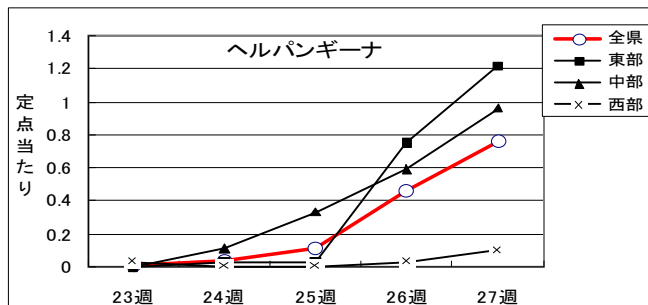
RSウイルス感染症

全県で罹患数63、定点当たりの0.71の患者発生あり、県全体で前週から増加。特に東部地区での増加が顕著。東部地区で定点当たり1.63、中部地区で定点当たり0.07、西部地区で定点当たり0.30の患者発生あり。東部地区で地域流行の可能性が示唆、今後の動向に注視。

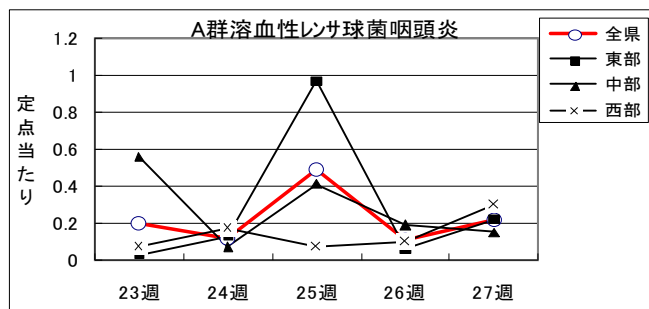


ヘルパンギーナ

全県で罹患数68、定点当たり0.76の患者発生あり、全県で大幅に増加、特に東部及び中部地区での増加が顕著。東部地区で定点当たり1.22、中部地区で定点当たり0.96の、西部地区で定点当たり0.10の患者発生あり。県下全域で先週より感染が拡大、流行期継続が示唆。

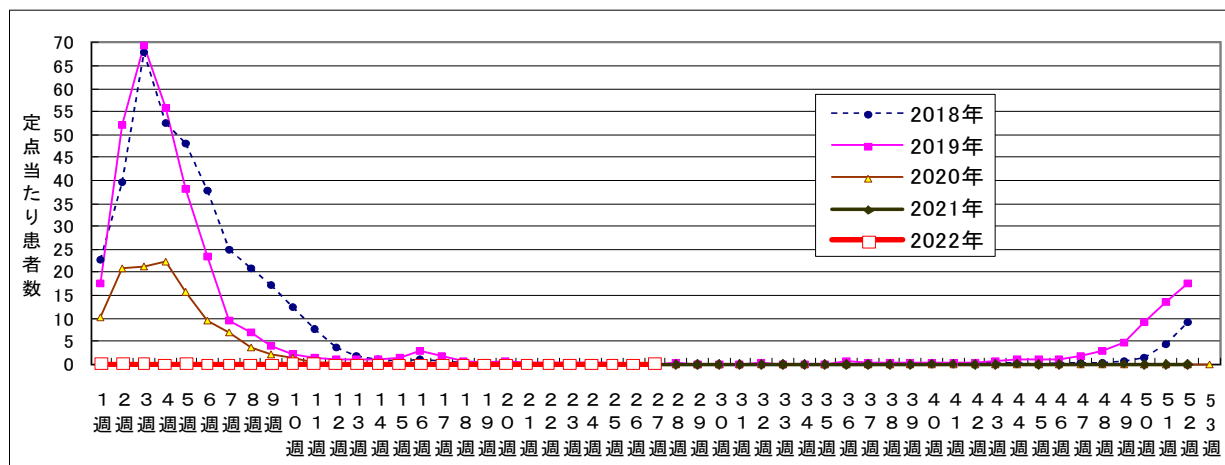


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 全県で罹患数20、定点当たり0.22の患者発生あり。前週より中部地区のみ減少、県全体では増加。東部地区で定点当たり0.22、中部地区で0.15、西部地区で0.30の患者発生あり。今後の動向に注視が必要と思われる。



- ・風疹、麻疹とも全県で発生なし。
- ・インフルエンザが西部地区で定点あたり0.02の患者発生あり。11週以来16週ぶりの発生。
- ・伝染性紅斑の発生は東部地区のみで、定点あたり0.03の患者発生あり。中部及び西部地区での発生はなし。全県で前週より減少。
- ・咽頭結膜熱は全県で減少、東部地区で定点当たり0.28、中部地区で0.30、西部地区で0.60の発生に止まる。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況】

- ・令和4年は増加が継続(全国と同様)、26週は前週から1件の増加。

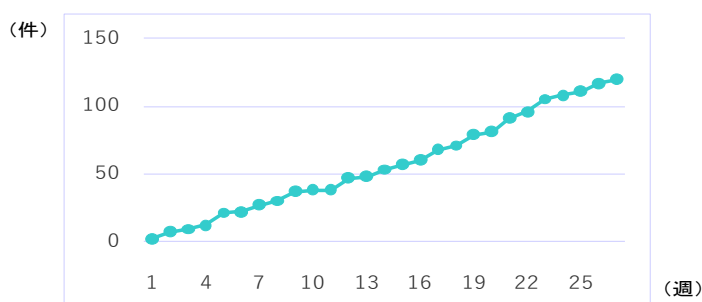


図3 静岡県の令和4年27週までの届出患者数の推移(累計)

【バンコマイシン耐性腸球菌(VRED)の発生状況】

- ・令和4年は27週までに14件と9週以降ハイペースで増加している。

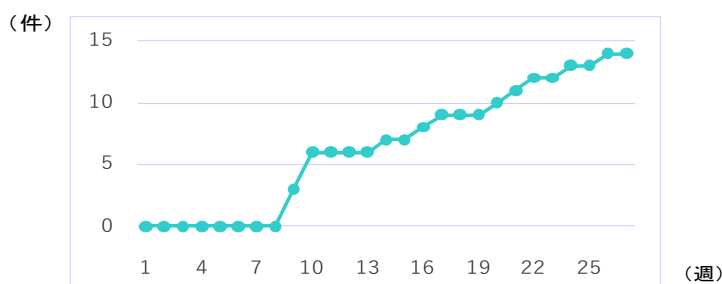


図 静岡県の令和4年27週までの届出件数の推移(累計)

◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 なし

注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第27週（7月4日～7月10日）

光ヶ丘小児科（三島市）「RSウイルス 6名、ヒトメタニューモウイルス 1名、咽頭アデノウイルス 3名、腸管アデノウイルス 1名」

クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 6名（2歳女児3名、2歳男児1名、3歳男児1名、4歳男児1名）」

幸田子供クリニック（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 2名（3歳女児1名、4歳女児1名）」

- ・ 静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。
- ・ 引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

2022年 27 週

疾患名	区分	静岡県						全国					
		22週	23週	24週	25週	26週	今週	年累計	24週	25週	26週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		2	8	5	8	6	3	180	274	268	220	209	7,568
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		3,199	2,143	1,644	1,752	2,529	6,066	159,907	98,245	102,766	136,357	320,678	7,962,358
コレラ													
細菌性赤痢								1		1		1	12
腸管出血性大腸菌感染症		1	1	2		2		12	81	80	87	88	1,035
腸チフス											1		9
パラチフス										1			3
E型肝炎						1		1	8	8	5	3	232
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎			1					1	4	2			44
エキノコックス症										1			14
糞熱													
オウム病													4
オムスク出血熱													
回帰熱											1		7
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群					1	1	1	5	3	5	5	2	69
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テクングニア熱						1		1		1	3		4
つつが虫病								1	3	1	3	1	95
デング熱								1		1	2	2	19
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱			1	1				2	17	11	7	7	135
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
強しんチフス													
ポツリヌス症													1
マラリア									2			1	10
野兔病													
ライム病										1			3
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													1
レジオネラ症				1	2	2		26	52	48	76	47	910
レプトスピラ症									1				3
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢								6	5	6	9	6	264
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								1	6	3	2	3	111
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				2	1			18	23	29	22	15	833
急性弛緩性麻痺								1	2				12
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)		1		1				6	7	5	2	3	154
クリプトスポリジウム症										2			6
クロイツフェルト・ヤコブ病								3	6	1	2	3	94
劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1		6	11	9	9	8	386
後天性免疫不全症候群				1				7	14	17	12	12	464
ジアルジア症									1		4		19
慢性的インフルエンザ菌感染症								3	1	3	2		92
慢性的髄膜炎菌感染症													4
慢性的肺炎球菌感染症						1		22	11	18	18	11	663
水痘(入院例に限る)								6	6	4	1	6	169
先天性風しん症候群													
梅毒		3	6	1	2	4	1	120	167	136	178	174	5,883
播種性クリプトコックス症		1						1	3	1	2	3	76
破傷風								2			3		43
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1		1				14	4		5	3	82
百日咳								2	11	8	6	6	276
風しん										1	1	1	4
麻疹													1
薬剤耐性アシネトバクター感染症													4
新型コロナウイルス等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2022年 27 週

	静岡県							全国				
	22週	23週	24週	25週	26週	今週	計	24週	25週	26週	今週	計
RSウイルス感染症	11	7	18	14	17	63	130	1,346	1,828	2,931	4,738	10,843
咽頭結膜熱	21	15	34	38	53	35	196	1,301	1,339	1,357	1,181	5,178
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	18	11	44	10	20	109	1,169	1,089	1,030	1,243	4,531
感染性胃腸炎	382	380	473	404	441	413	2,493	17,970	16,675	15,013	14,302	63,960
水痘	5	8	5	1	11	3	33	259	260	287	215	1,021
手足口病	15	12	7	26	58	113	231	1,131	1,881	3,062	4,474	10,548
伝染性紅斑	1		2	1	3	1	8	41	45	49	32	167
突発性発しん	35	24	30	34	33	25	181	1,202	1,265	1,289	1,217	4,973
ヘルパンギーナ	4	1	4	10	41	68	128	251	451	764	1,063	2,529
流行性耳下腺炎	5	5	2	4	1	4	21	102	114	131	115	462
インフルエンザ						1	1	6	6	12	49	73
急性出血性結膜炎								11	2	6	2	21
流行性角結膜炎	6	4	2	2	3	5	22	133	123	154	165	575
クラミジア肺炎(オウム病は除く)												
細菌性髄膜炎				1			1	5	9	3	4	21
マイコプラズマ肺炎								7	8	8	10	33
無菌性髄膜炎					1		1	10	12	10	17	49
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)									1	3	1	5

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2022年 27 週

	静岡県						全国			
	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週	今週	第24週	第25週	第26週	今週
RSウイルス感染症	0.12	0.08	0.20	0.16	0.19	0.71	0.43	0.58	0.93	1.51
咽頭結膜熱	0.24	0.17	0.38	0.43	0.60	0.39	0.41	0.43	0.43	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.07	0.20	0.12	0.49	0.11	0.22	0.37	0.35	0.33	0.40
感染性胃腸炎	4.29	4.27	5.31	4.54	4.96	4.64	5.72	5.31	4.78	4.55
水痘	0.06	0.09	0.06	0.01	0.12	0.03	0.08	0.08	0.09	0.07
手足口病	0.17	0.13	0.08	0.29	0.65	1.27	0.36	0.60	0.97	1.42
伝染性紅斑	0.01		0.00	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01
突発性発しん	0.39	0.27	0.34	0.38	0.37	0.28	0.38	0.40	0.41	0.39
ヘルパンギーナ	0.04	0.01	0.04	0.11	0.46	0.76	0.08	0.14	0.24	0.34
流行性耳下腺炎	0.06	0.06	0.02	0.04	0.01	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04
インフルエンザ						0.01				0.01
急性出血性結膜炎							0.02		0.01	
流行性角結膜炎	0.27	0.18	0.09	0.09	0.14	0.23	0.19	0.18	0.22	0.24
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎				0.10			0.01	0.02	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎							0.01	0.02	0.02	0.02
無菌性髄膜炎					0.10		0.02	0.03	0.02	0.04
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)									0.01	

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 27 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	63	0.71	35	0.39	20	0.22	413	4.64	3	0.03
賀茂							3	1.50		
熱海							35	8.75		
東部	48	3.69	1	0.08	4	0.31	41	3.15		
御殿場	4	1.00	7	1.75	3	0.75	34	8.50	2	0.50
富士			1	0.11			13	1.44		
静岡市	2	0.13	6	0.40	2	0.13	54	3.60		
中部			2	0.18	2	0.18	43	3.91		
西部			13	1.08	2	0.17	61	5.08	1	0.08
浜松市	9	0.50	5	0.28	7	0.39	129	7.17		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	113	1.27	1	0.01	25	0.28	0	2	68	0.76
賀茂										
熱海					1	0.25				
東部	6	0.46			3	0.23		2	1	0.08
御殿場	1	0.25			1	0.25				
富士	36	4.00	1	0.11	5	0.56			38	4.22
静岡市	22	1.47			2	0.13			11	0.73
中部	44	4.00			3	0.27			15	1.36
西部	2	0.17			2	0.17			1	0.08
浜松市	2	0.11			8	0.44			2	0.11

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	4	0.04	1	0.01	0	0	0	0	89	50
賀茂									2	1
熱海									4	2
東部	1	0.08							13	7
御殿場	2	0.50							4	2
富士									9	6
静岡市									16	9
中部									11	6
西部	1	0.08							12	7
浜松市			1	0.04					18	10

*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 27 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		5	0.23	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士			1	0.33						
静岡市			1	0.20						
中部										
西部			1	0.25						
浜松市			2	0.67						

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	7
—	
—	
4	1
—	
3	1
5	2
3	
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

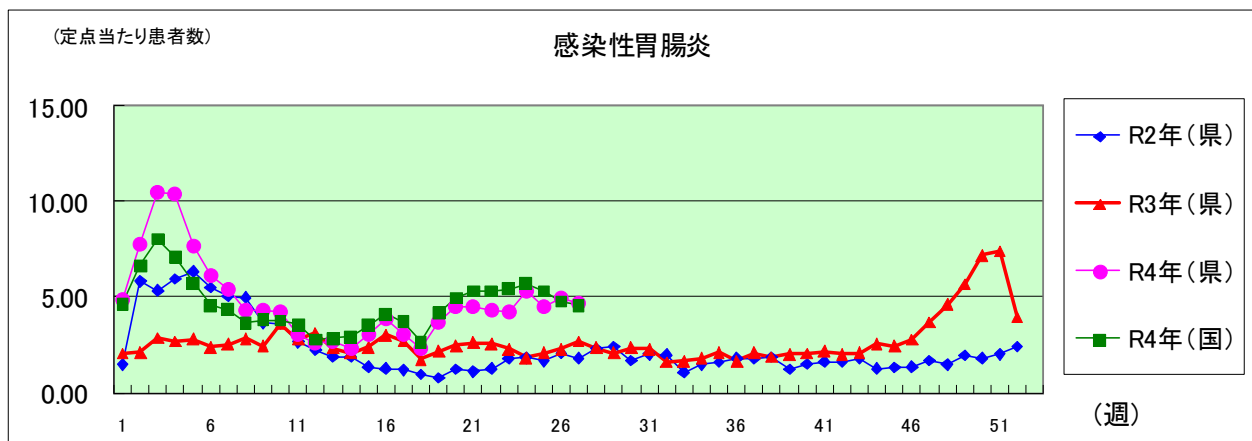
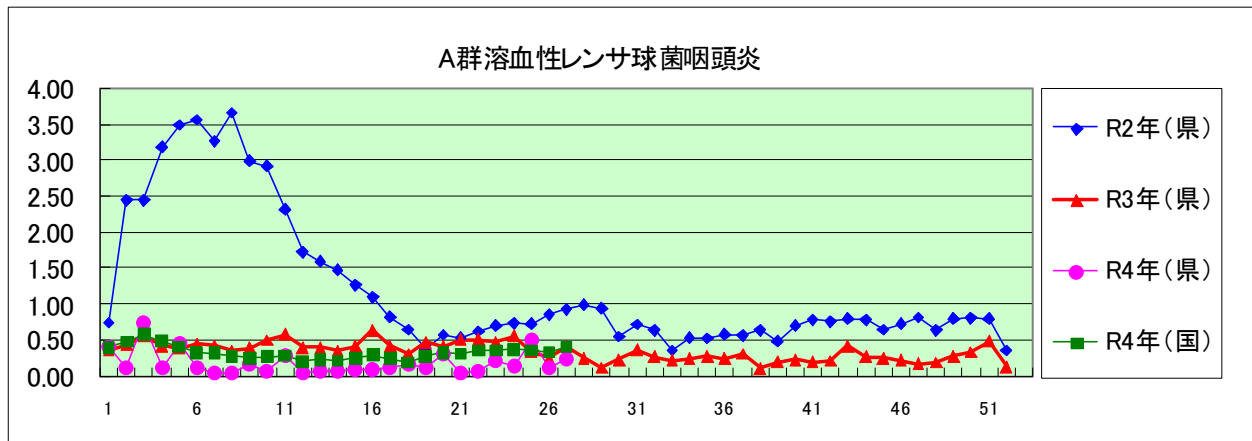
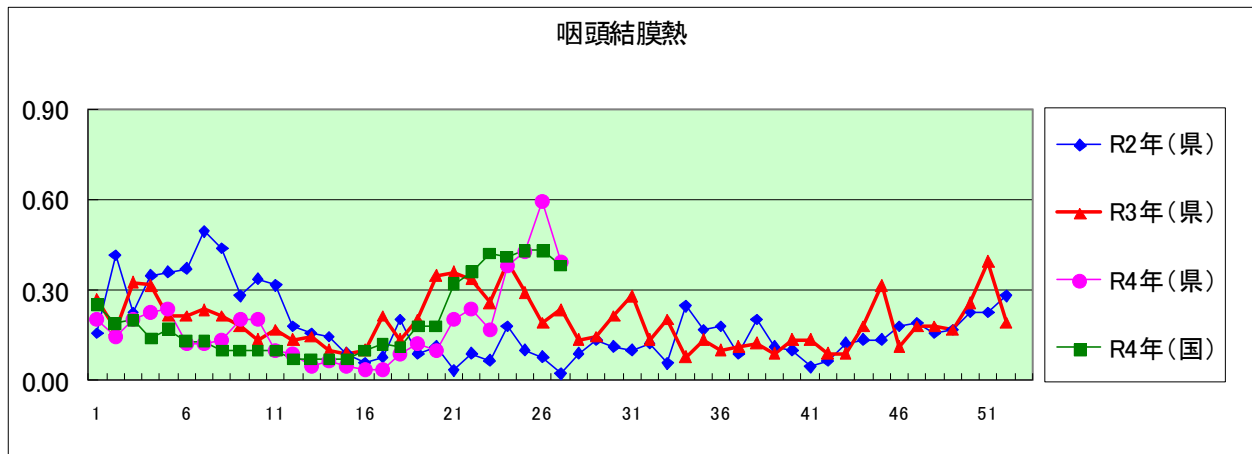
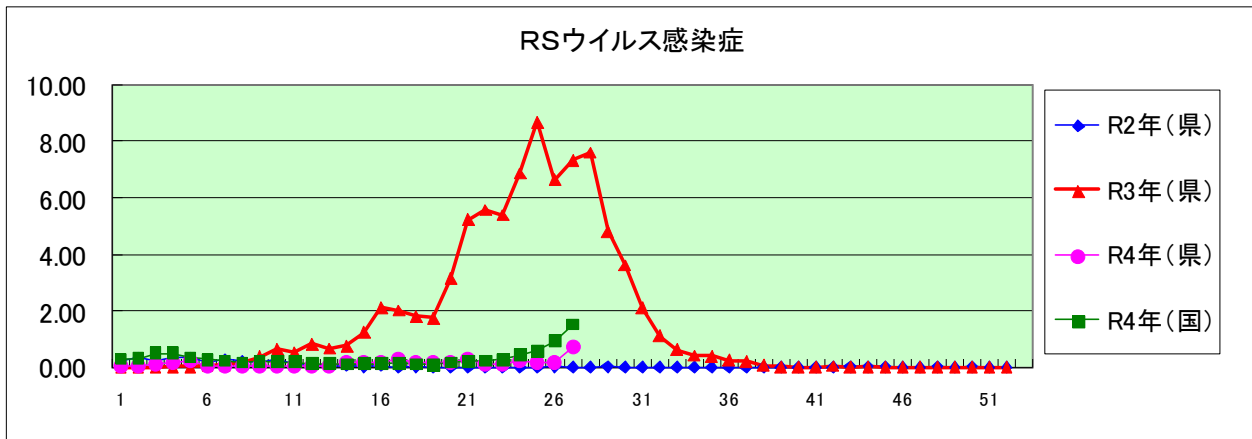
2022年 27 週

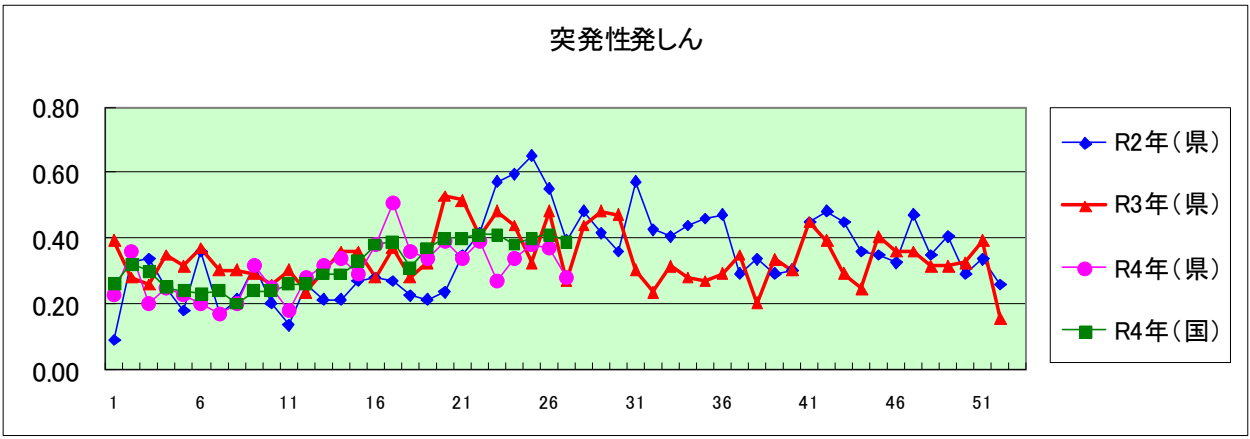
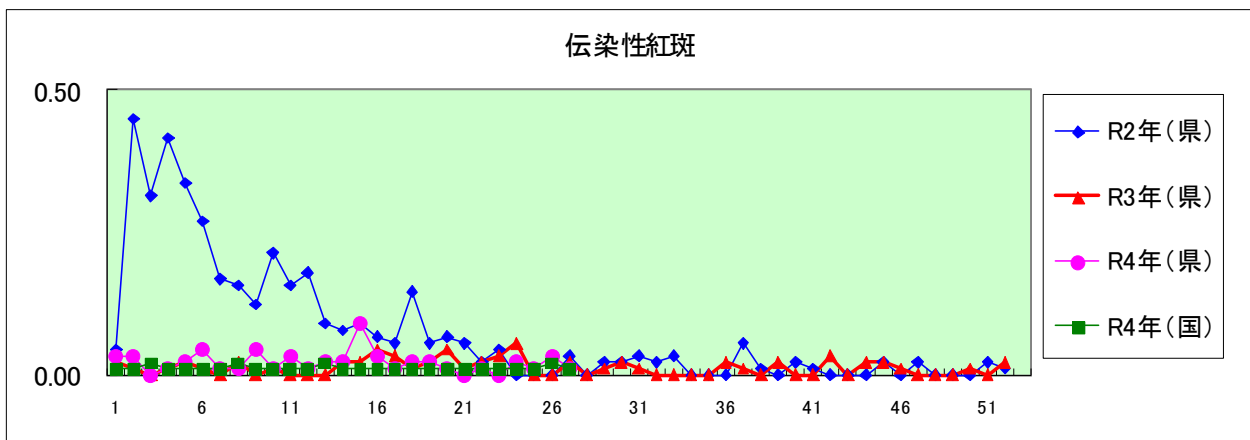
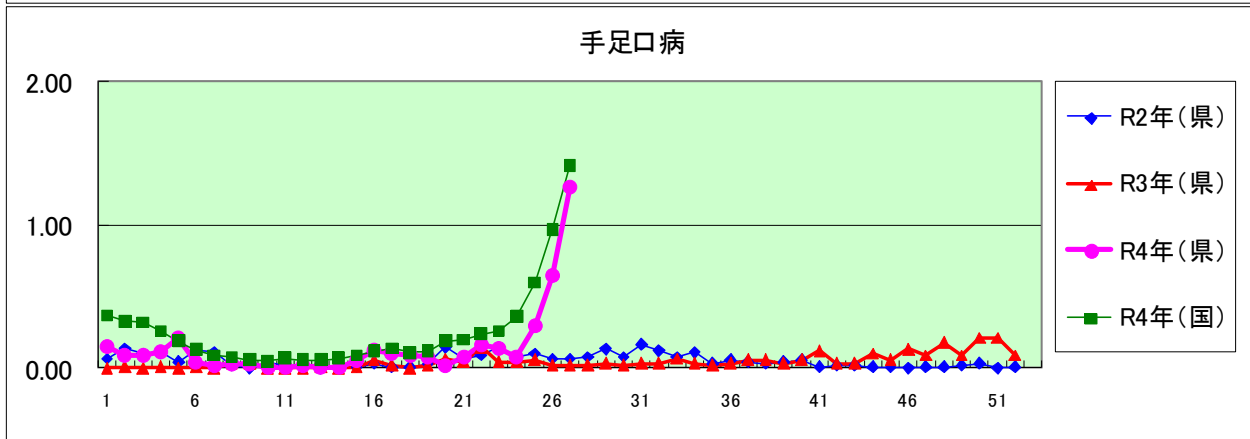
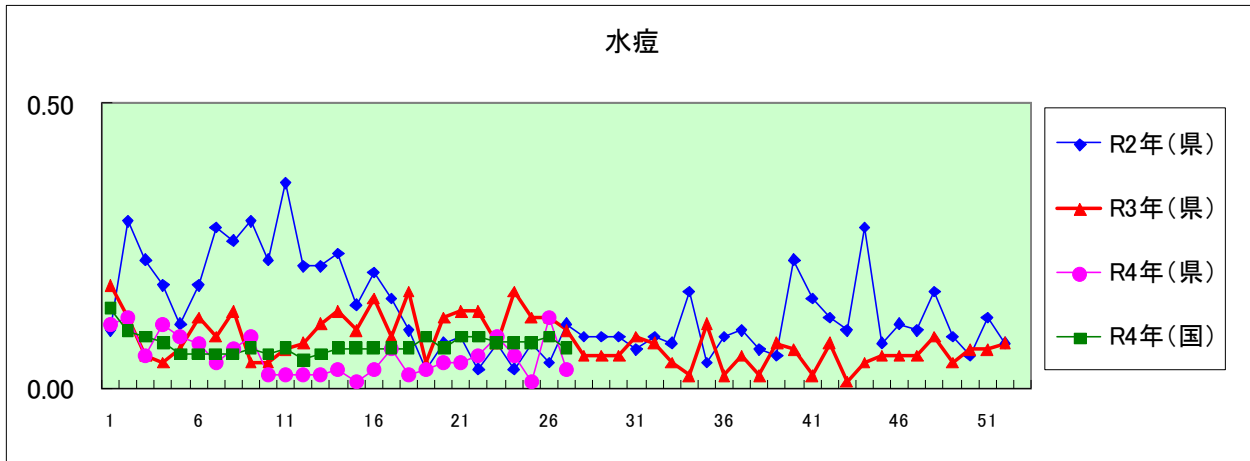
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
# (小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
# (眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
# (基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	6	5	17	11	12	7	2	1	1						1							63
咽頭結膜熱		4	15	7	5	1	2				1											35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					4	3		3		4		3	2	1							20	
感染性胃腸炎	2	38	75	55	47	44	44	21	14	12	10	35	5	11							413	
水痘								1	1			1									3	
手足口病	4	8	47	26	17	3	6	2													113	
伝染性紅斑			1																		1	
突発性発しん		6	15	4																	25	
ヘルパンギーナ	1	9	15	15	12	4	5	3	1			3									68	
流行性耳下腺炎					1		1					1		1							4	
インフルエンザ																1					1	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎								1						1	1	2						
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
細菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎																						
無菌性髄膜炎																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

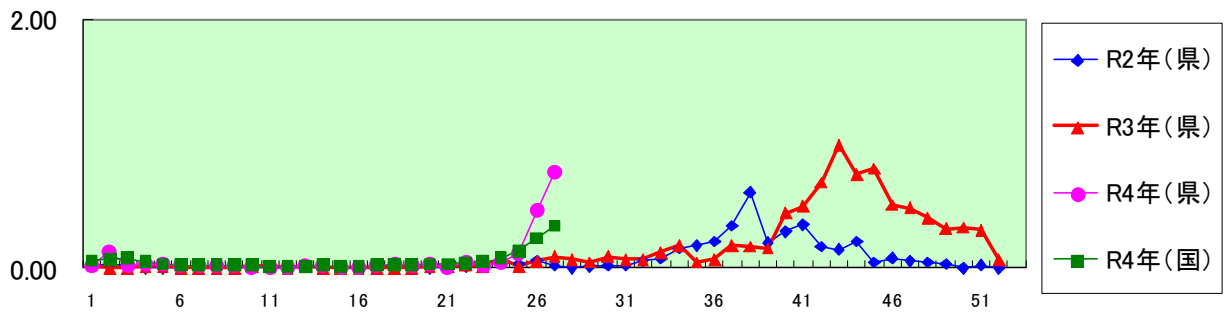
2022年 27 週

年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
# (小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
# (眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
# (基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.07	0.06	0.19	0.12	0.13	0.08	0.02	0.01	0.01					0.01							0.71
咽頭結膜熱		0.04	0.17	0.08	0.06	0.01	0.02				0.01										0.39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					0.04	0.03		0.03		0.04		0.03	0.02	0.01							0.22
感染性胃腸炎	0.02	0.43	0.84	0.62	0.53	0.49	0.49	0.24	0.16	0.13	0.11	0.39	0.06	0.12							4.64
水痘								0.01	0.01			0.01									0.03
手足口病	0.04	0.09	0.53	0.29	0.19	0.03	0.07	0.02													1.27
伝染性紅斑			0.01																		0.01
突発性発しん		0.07	0.17	0.04																	0.28
ヘルパンギーナ	0.01	0.10	0.17	0.17	0.13	0.04	0.06	0.03	0.01			0.03									0.76
流行性耳下腺炎					0.01		0.01					0.01		0.01							0.04
インフルエンザ																0.01					0.01
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎								0.05					0.05	0.05	0.09						0.23
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

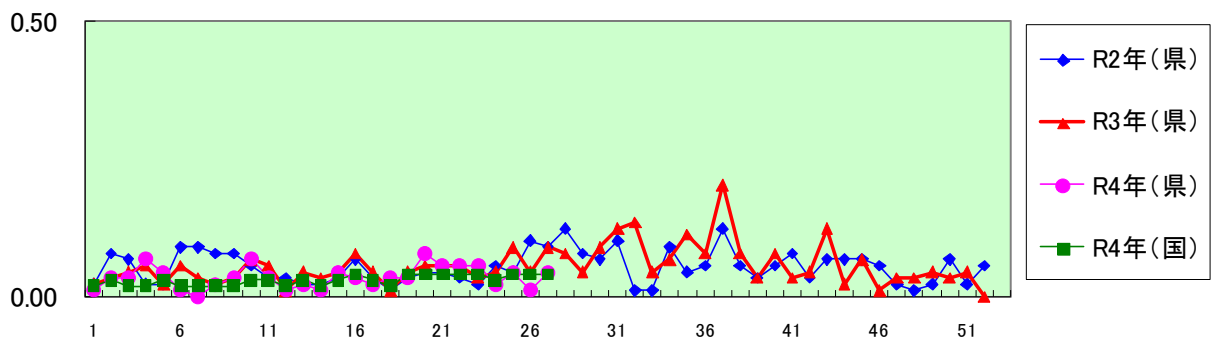




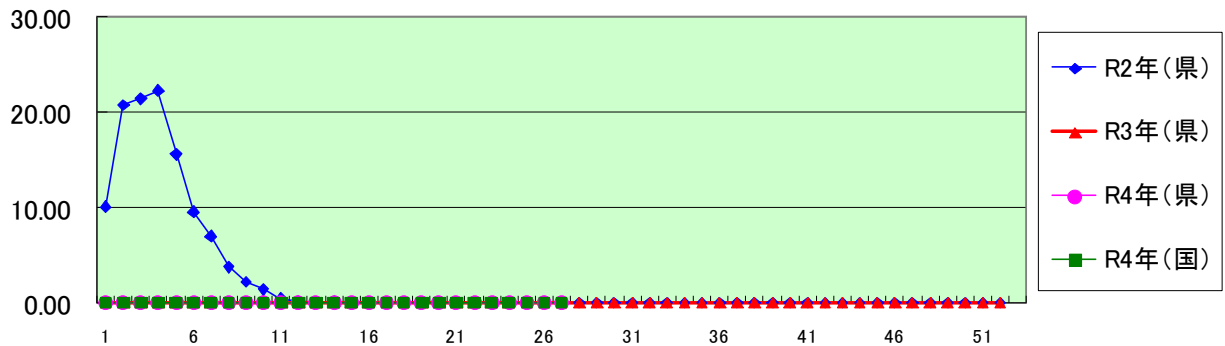
ヘルパンギーナ

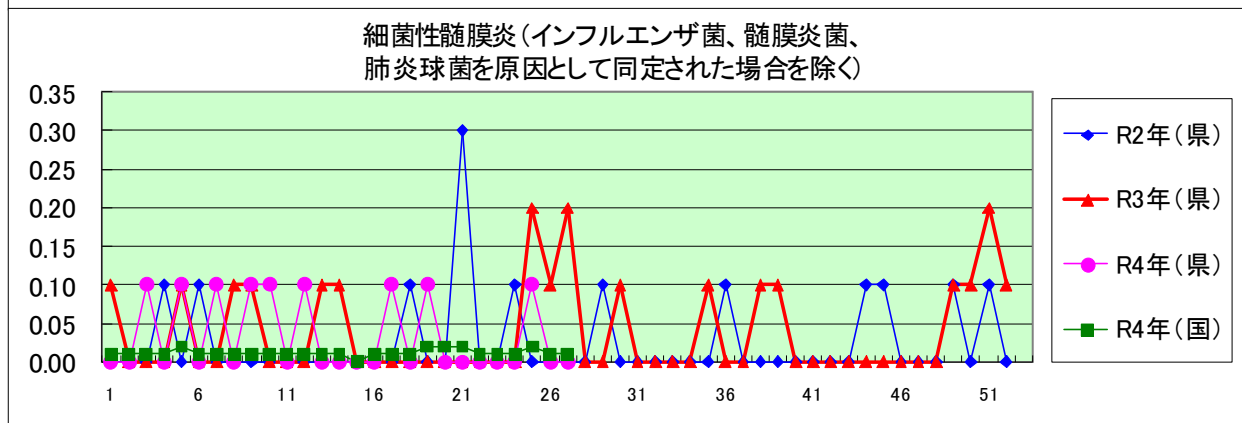
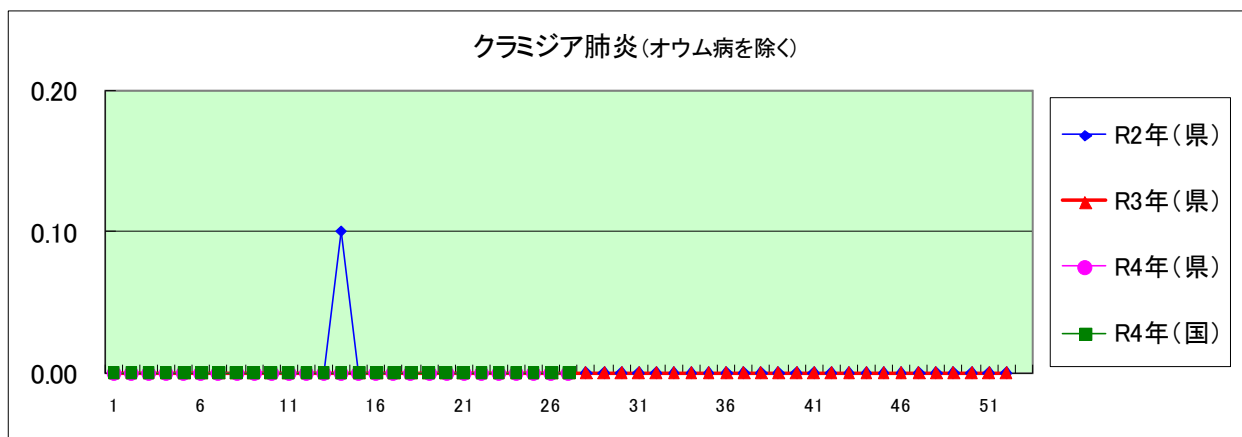
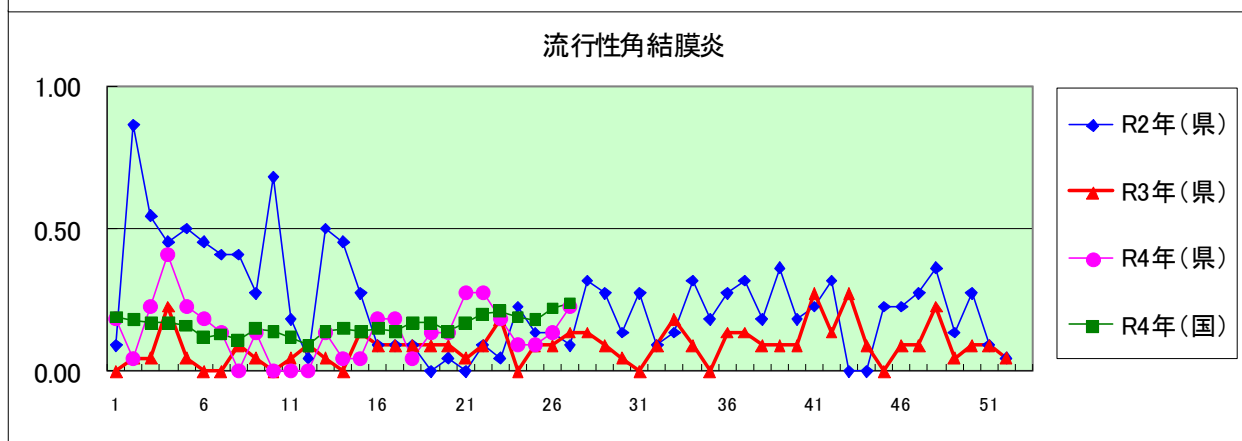
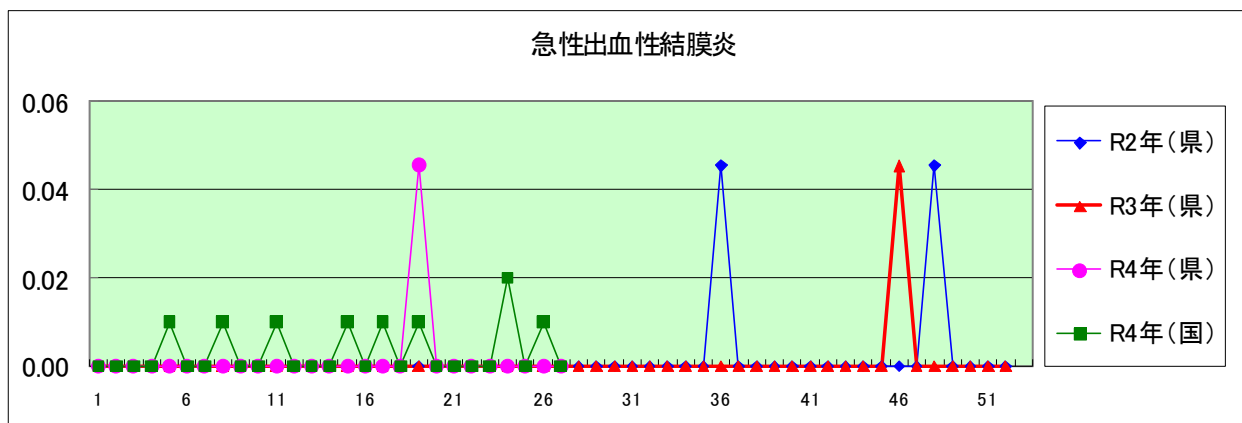


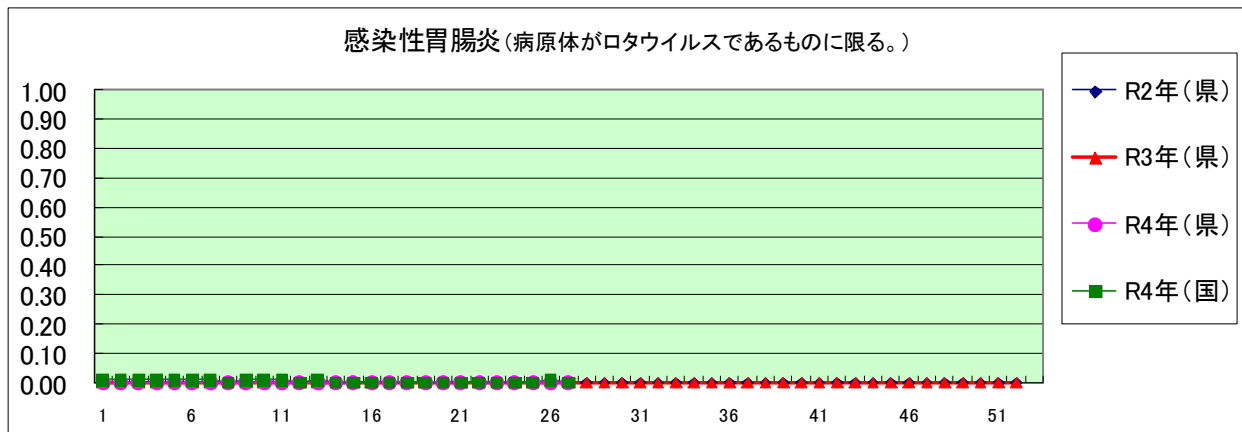
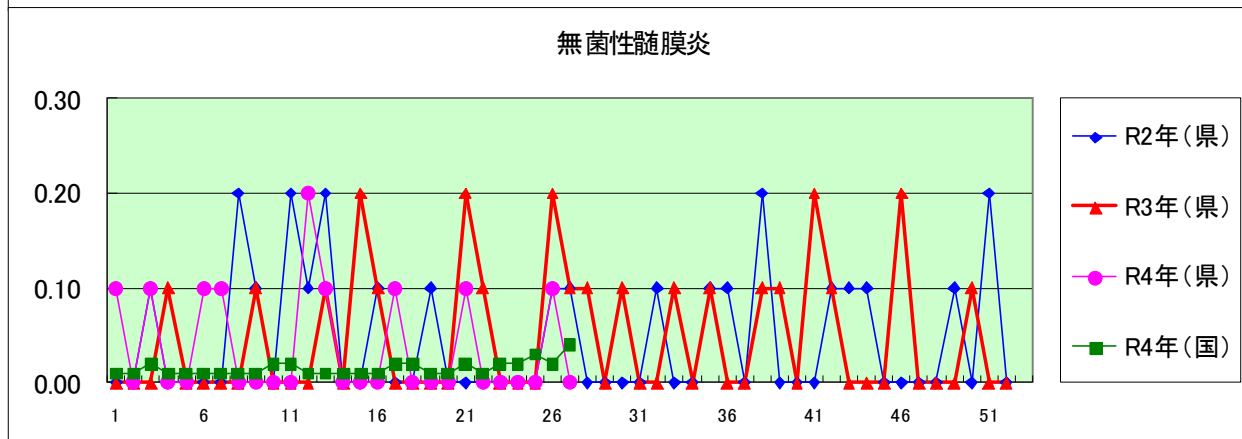
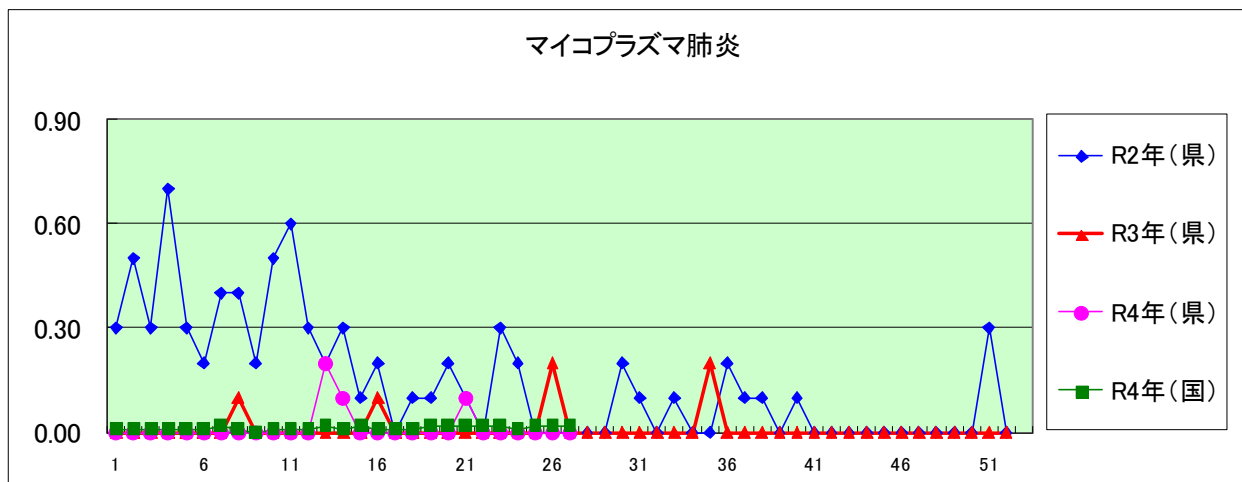
流行性耳下腺炎



インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)







定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2022年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	52	37	55	54	38	61	297	2,201	2,461	2,342	2,533	9,537
性器ヘルペスウイルス感染症	17	18	13	18	9	20	95	616	710	746	731	2,803
尖圭コンジローマ	7	11	8	5	7	5	43	376	455	456	520	1,807
淋菌感染症	12	19	8	10	5	6	60	684	794	791	833	3,102
性器クラミジア感染症(男)	21	16	20	23	13	19	112	1,112	1,255	1,185	1,296	4,848
性器クラミジア感染症(女)	31	21	35	31	25	42	185	1,089	1,206	1,157	1,237	4,689
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	6	3	8		7	29	225	245	291	291	1,052
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	12	10	10	9	13	66	391	465	455	440	1,751
尖圭コンジローマ(男)	5	4	5	3		3	20	240	301	293	358	1,192
尖圭コンジローマ(女)	2	7	3	2	7	2	23	136	154	163	162	615
淋菌感染症(男)	7	16	5	7	4	3	42	537	626	613	652	2,428
淋菌感染症(女)	5	3	3	3	1	3	18	147	168	178	181	674
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				1			1	28	40	36	61	165
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	24	28	33	19	17	135	1,126	1,228	1,118	1,189	4,661
薬剤耐性緑膿菌感染症								11	16	15	16	58

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	61	2.03	20	0.67	5	0.17	6	0.20
賀茂								
熱海	2	2.00						
東部	10	2.00						
御殿場	4	4.00	5	5.00				
富士	6	2.00	4	1.33	1	0.33		
静岡市	18	3.00	4	0.67	3	0.50	3	0.50
中部	5	1.25	5	1.25			3	0.75
西部	10	2.00	1	0.20				
浜松市	6	1.20	1	0.20	1	0.20		

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			17	1.70		
賀茂			4	4.00		
熱海			3	3.00		
東部						
御殿場						
富士						
静岡市			6	3.00		
中部			2	2.00		
西部			1	1.00		
浜松市			1	0.50		

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂	-	1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	-
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2022年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.73	1.23	1.83	1.80	1.27	2.03	2.24	2.50	2.39	2.58
性器ヘルペスウイルス感染症	0.57	0.60	0.43	0.60	0.30	0.67	0.63	0.72	0.76	0.74
尖圭コンジローマ	0.23	0.37	0.27	0.17	0.23	0.17	0.38	0.46	0.46	0.53
淋菌感染症	0.40	0.63	0.27	0.33	0.17	0.20	0.70	0.81	0.81	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.70	0.53	0.67	0.77	0.43	0.63	1.13	1.28	1.21	1.32
性器クラミジア感染症(女)	1.03	0.70	1.17	1.03	0.83	1.40	1.11	1.23	1.18	1.26
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.20	0.10	0.27		0.23	0.23	0.25	0.30	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.40	0.33	0.33	0.30	0.43	0.40	0.47	0.46	0.45
尖圭コンジローマ(男)	0.17	0.13	0.17	0.10		0.10	0.24	0.31	0.30	0.36
尖圭コンジローマ(女)	0.07	0.23	0.10	0.07	0.23	0.07	0.14	0.16	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.23	0.53	0.17	9.00	0.13	0.10	0.55	0.64	0.62	0.66
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.10	0.10	0.03	0.10	0.15	0.17	0.18	0.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0.10			0.06	0.08	0.08	0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.40	2.40	2.80	3.30	1.90	1.70	2.36	2.58	2.34	2.48
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.03	0.03	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

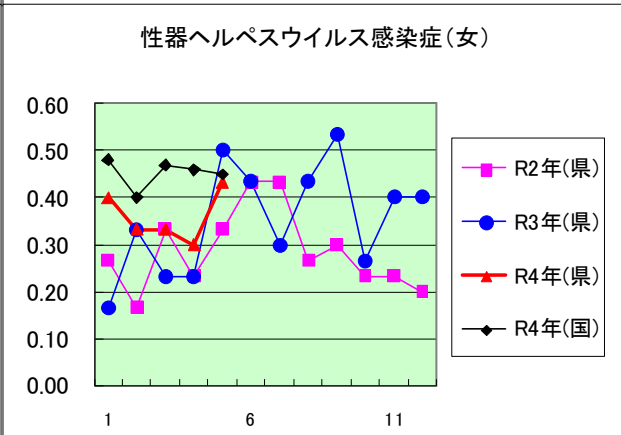
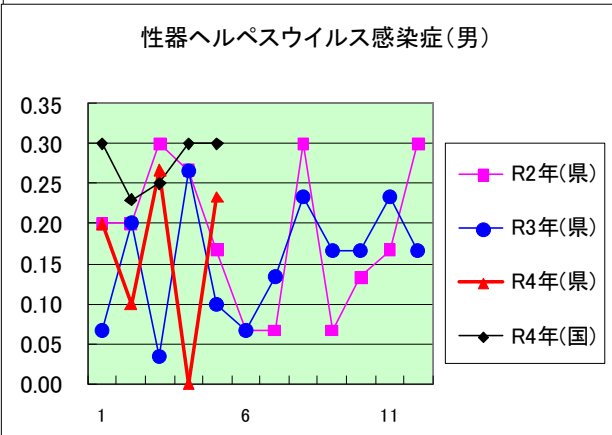
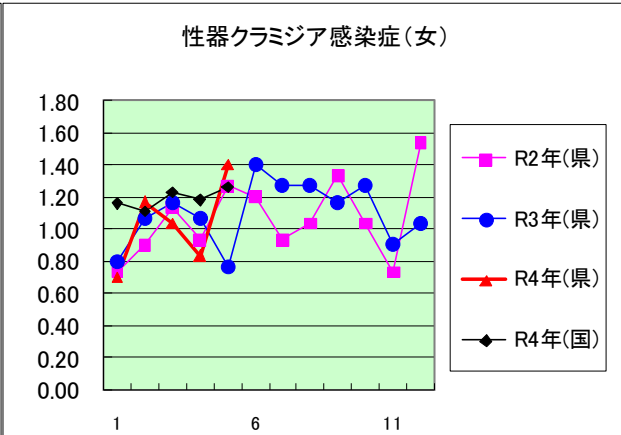
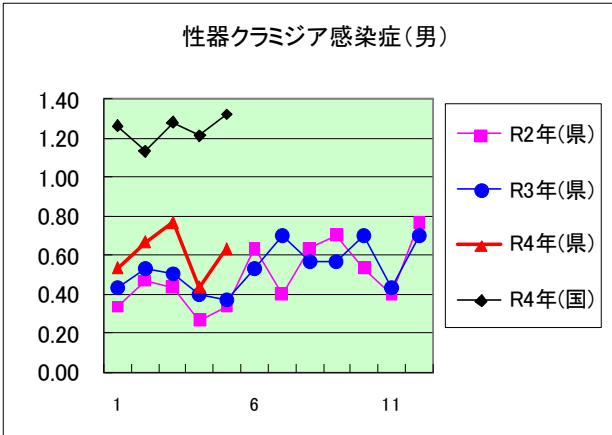
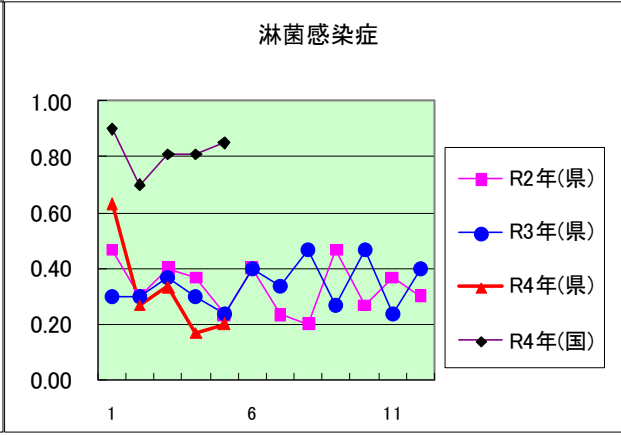
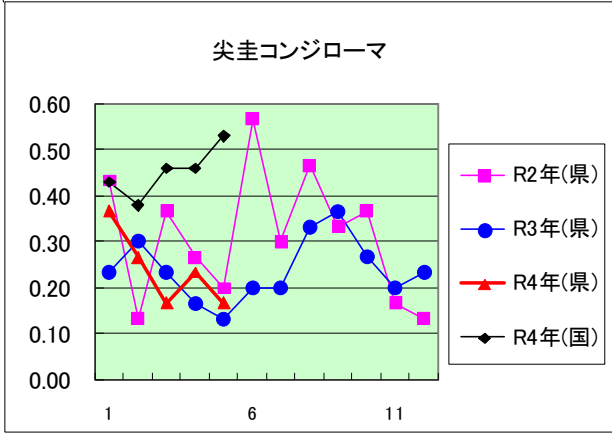
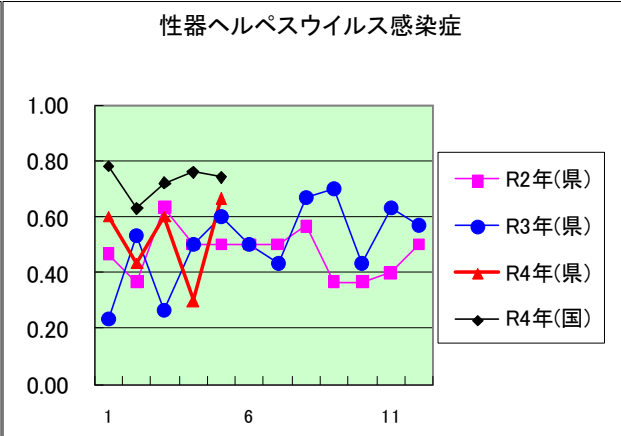
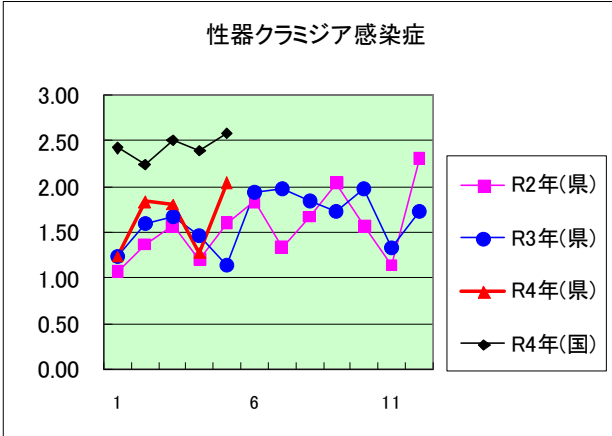
2022年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				1	3	22	17	10	6	1						1	61
性器ヘルペスウイルス感染症					1	1	4	4	3		1	1	2		1	2	20
尖圭コンジローマ							3	1							1		5
淋菌感染症						1	3			1			1				6
性器クラミジア感染症(男)						5	9	2	2							1	19
性器クラミジア感染症(女)				1	3	17	8	8	4	1							42
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							2		2			1	1			1	7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	4	1		1		1		1	1	13
尖圭コンジローマ(男)							1	1									3
尖圭コンジローマ(女)							2										2
淋菌感染症(男)							2						1				3
淋菌感染症(女)						1	1			1							3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1					1	2	1		12	17
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

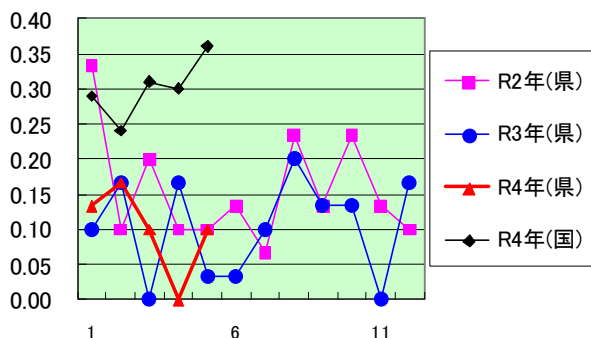
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 5 月

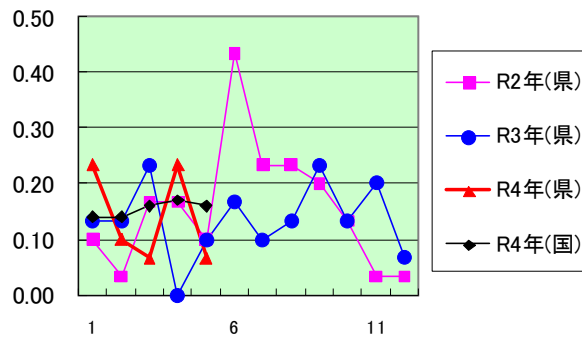
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				0.03	0.10	0.73	0.57	0.33	0.20	0.03						0.03	2.03
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.03	0.13	0.13	0.10		0.03	0.03	0.07		0.03	0.07	0.67
尖圭コンジローマ							0.10	0.03							0.03		0.17
淋菌感染症						0.03	0.10			0.03			0.03				0.20
性器クラミジア感染症(男)						0.17	0.30	0.07	0.07							0.03	0.63
性器クラミジア感染症(女)				0.03	0.10	0.57	0.27	0.27	0.13	0.03							1.40
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.07		0.07			0.03	0.03			0.03	0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.13	0.03		0.03		0.03		0.03	0.03	0.43
尖圭コンジローマ(男)							0.03	0.03									0.10
尖圭コンジローマ(女)							0.07										0.07
淋菌感染症(男)							0.07						0.03				0.10
淋菌感染症(女)						0.03	0.03			0.03							0.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10					0.10	0.20	0.10		1.20	1.70
薬剤耐性緑膿菌感染症																	



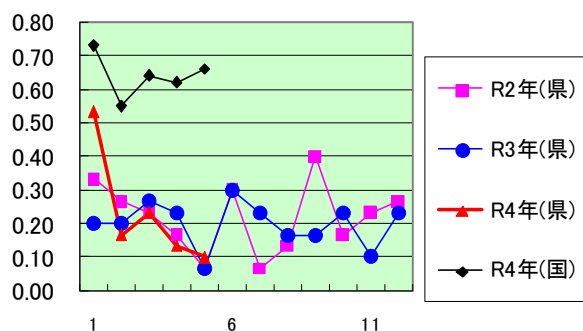
尖圭コンジローマ(男)



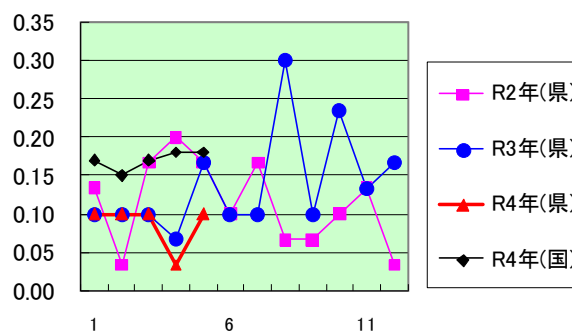
尖圭コンジローマ(女)



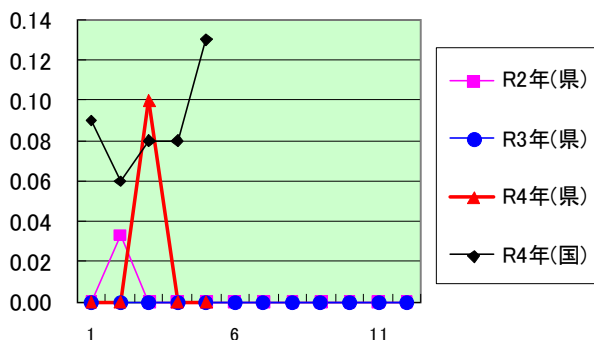
淋菌感染症(男)



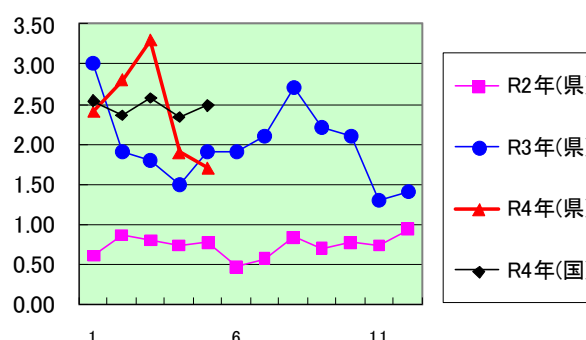
淋菌感染症(女)



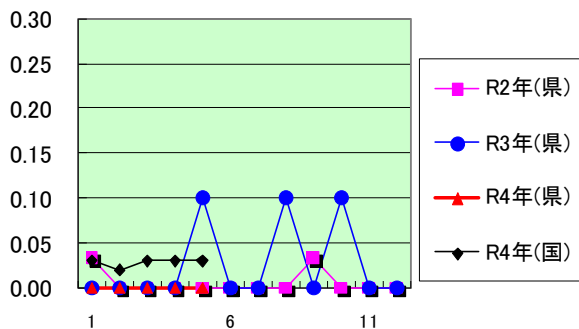
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



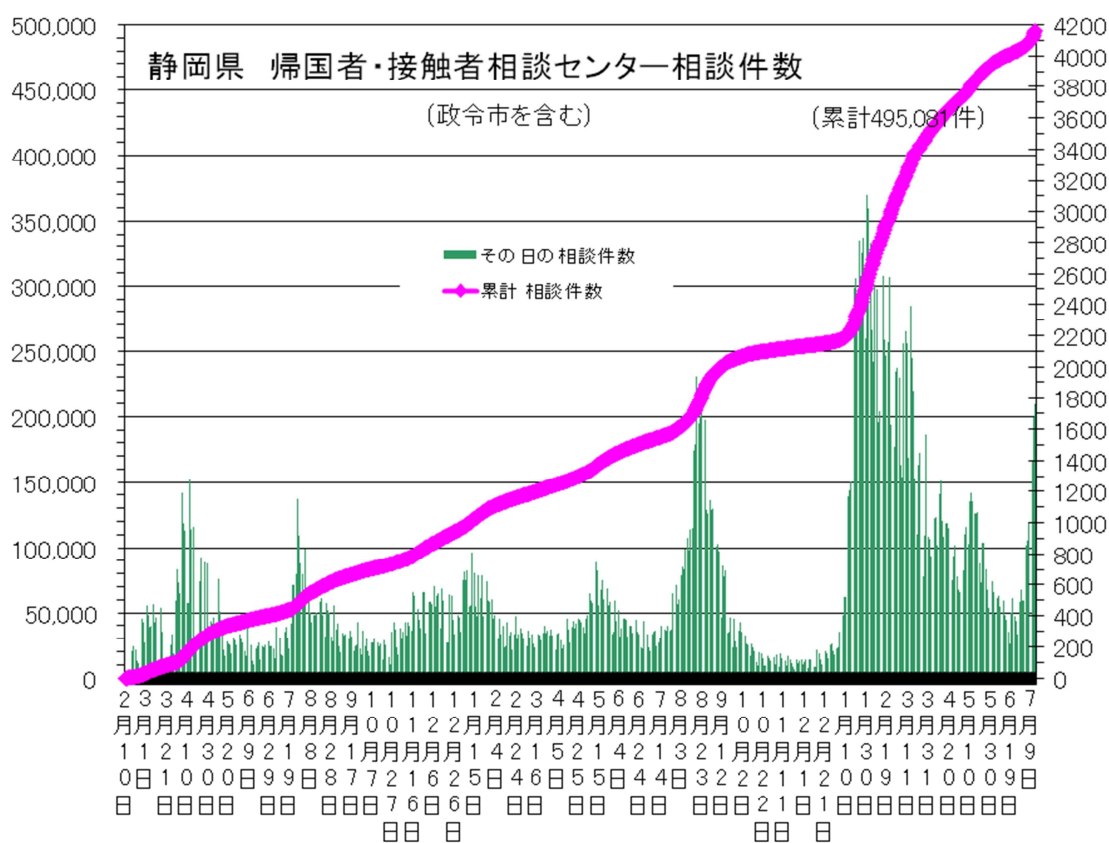
薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症


新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等（令和4年7月12日時点）

項目	PCR・抗原検査実施者数	1週間の検査実施者数	PCR・抗原検査陽性者数	1週間の陽性者数	1週間の検査陽性率
7月6日 水	1,856	22,294	853	7,691	34.5%
7月7日 木	3,415		894		
7月8日 金	3,495		1,034		
7月9日 土	2,115		1,282		
7月10日 日	1,386		1,150		
7月11日 月	5,644		596		
7月12日 火	4,383		1,882		



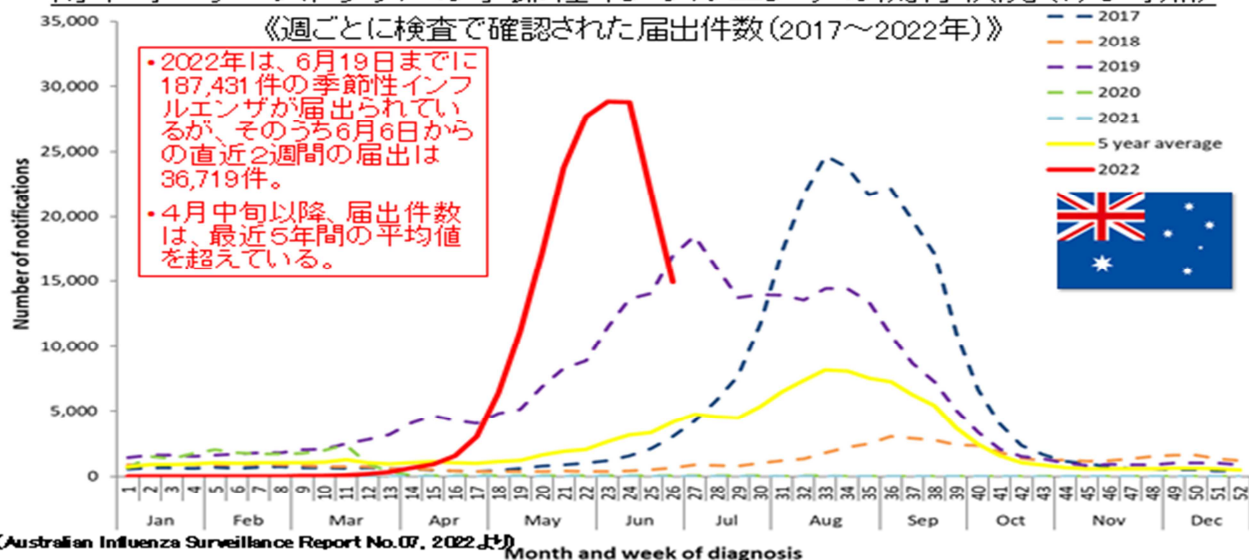
南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

《"Australian Influenza Surveillance Report No.07, 2022"のKey Messages》

活動性	<ul style="list-style-type: none"> 今年のコミュニティでのインフルエンザ様疾患(ILI)の活動は、2022年5月と6月にピークに達した。 2022年のこれまでに、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に187,431件が届出されており、そのうち36,719件の届出は6月20日から7月3日の2週間に診断された。 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認されたインフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている。 	
重症度	<ul style="list-style-type: none"> 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ 187,431 件の届出のうち、113 件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は視病院全体で1,323件報告されており、そのうち65%がICUに直接入院した。 	
影響	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、2022年インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない。 	
リスク集団	<ul style="list-style-type: none"> 2022年の現在までは、5~9歳、5歳未満そして10~19歳が最も高い届出率を示している。 	
ウイルス学	<ul style="list-style-type: none"> 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の82.8%がインフルエンザAであり、そのうち94.6%がインフルエンザA(サブタイプ検査なし)、0.8%がインフルエンザA(H1N1)、4.6%がインフルエンザA(H3N2)。インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染であり、17.2%は型が分類されていない。 	
ワクチンとの一致と有効性	<ul style="list-style-type: none"> これまでにWHO協力センターに照会された1,196検体のうち、インフルエンザA(H1N1)の99.0%、インフルエンザA(H3N2)の96.0%、およびインフルエンザB/ビクトリアは、対応するワクチン成分と抗原的に類似の特徴があった。 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。 	

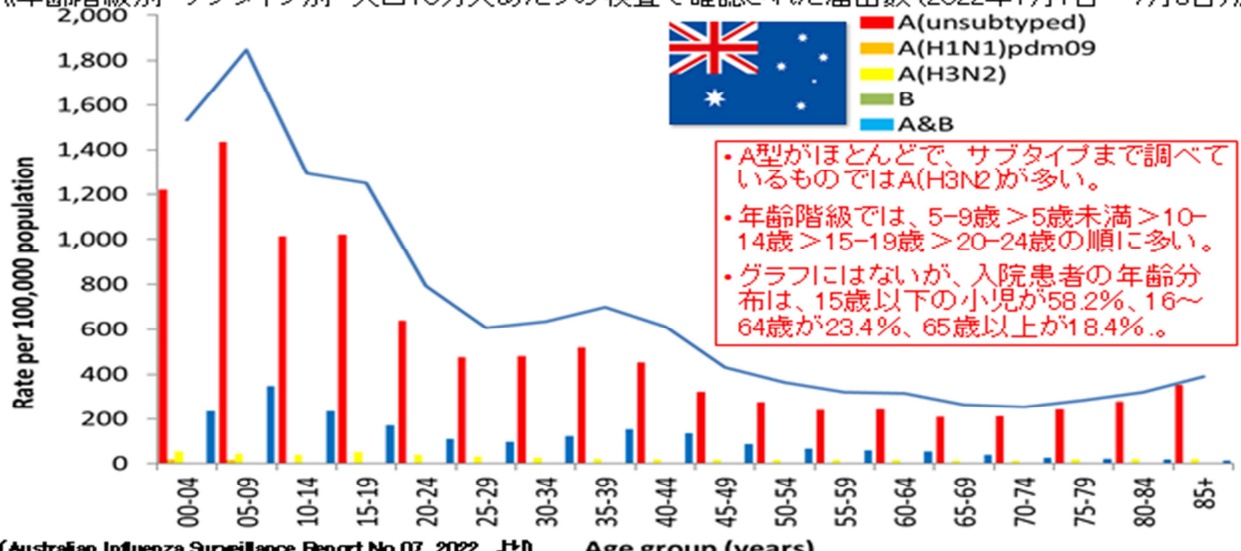
南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

《週ごとに検査で確認された届出件数(2017~2022年)》



南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日~7月3日)》

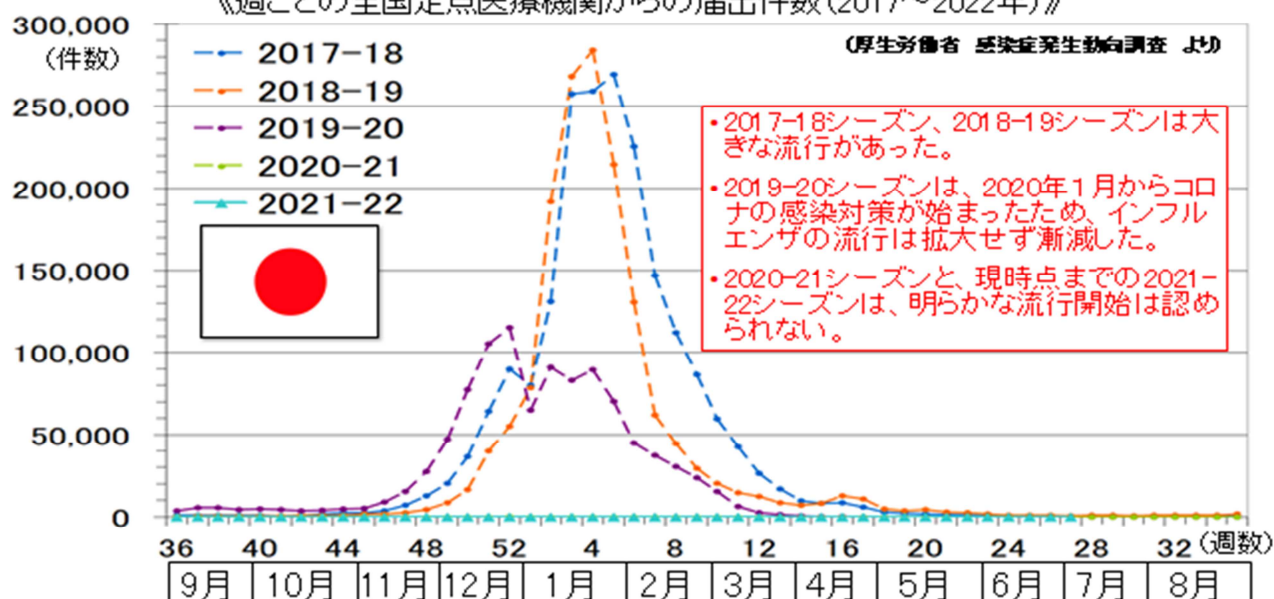


URL: <https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu>

-flucurr.htm/\$File/w.flu-07-2022.docx

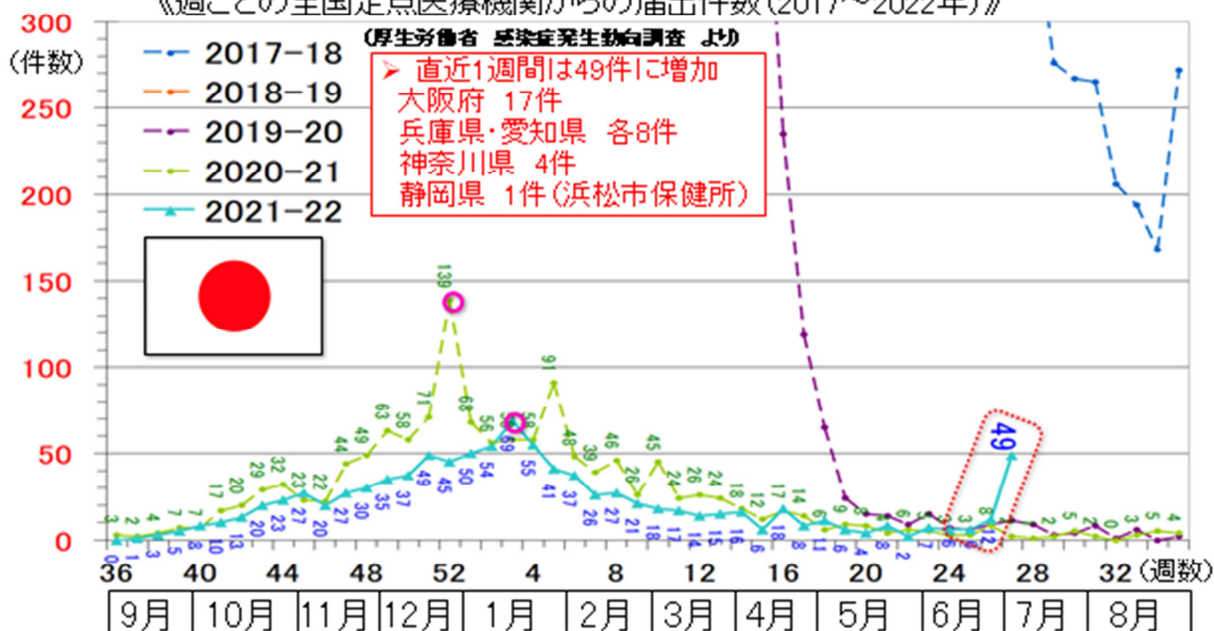
日本の季節性インフルエンザの流行状況(7/10 第27週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



日本の季節性インフルエンザの流行状況(7/10時点)【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



- オーストラリアで季節性インフルエンザの急増が見られており、今冬は国内でも2019-20年シーズン以来3年ぶりに、インフルエンザが大流行する可能性が極めて高くなると考えられます。
- 2017-18年シーズン以上の過去に例のない超大型流行になる可能性もあり、特に小児の患者が爆発的に増えることが心配されます。
- 例年の流行開始は11月頃ですが、今シーズンはもっと早くなる可能性もあります。
- インフルエンザワクチンの接種が開始されたら、小児や高齢者を中心にいつも以上にできるだけ早く接種してください。
- インフルエンザの感染対策は、新型コロナ対策と全く同じ(マスク着用、手洗い、密を避ける)で大丈夫です。